

## 〈社会教育（生涯学習）分野の点検・評価〉

社会教育（生涯学習）分野については、大きく生涯学習事業と図書館事業に分けて点検・評価しました。

### I 生涯学習事業

#### 1 自主的サークル活動の支援と学習機会の提供

項目	1 市民が生涯学習に自発的に参加できるように、学習できる機会・場の提供に努めます。
目標・取組概要	指定管理者が、中央公民館、郷州公民館、高野公民館、北守谷公民館において講座・教室を開催し、学習機会の提供、学習意欲の喚起を図り、市民の学習活動につながるきっかけづくりを促進します。 ① 学習機会、交流の場の提供 ② 公民館の適切な維持管理と活用
自己評価	① 公民館利用を促進し、市民に公民館での芸術・文化活動の内容を知らせることにより、市民の学習意欲の高揚を図りました。さらに、公民館使用サークルから実行委員を選出し、市民の視点を取り入れた公民館まつりを開催しました。 「サークル支援事業」として、会員確保のため、体験教室の開催等を希望するサークルを支援しました。 ② 不良箇所の修繕を行い市民に安心して利用いただきました。 ・中央公民館改修の実施設計発注（平成31年度工事着手）
今後の課題と対応の方向性	公民館は建設後18年から37年が経過し、老朽化してきていることから、計画的に修繕を行う必要があります。

〈外部の方々から頂いた意見〉

- \* 中央公民館ホールの音響設備を改善してほしい。（市民）
- \* 郷州公民館にエレベーターを設置してほしい。（市民）

#### 2 生涯スポーツのきっかけづくりと自主的な活動の支援

項目	1 市民がスポーツする機会・場の提供に努めます。
目標・取組概要	① 各種スポーツ大会・教室の開催 ② スポーツ少年団活動の支援
自己評価	① 市民の健康増進と体力向上を図るため、市内在住・在勤者を対象に初心者水泳教室、水中ウォーキング教室等を開催しました。 ② スポーツ少年団への補助金や学校体育施設開放などの支援を行い、子ども達が日ごろからスポーツに親しむようにしました。
今後の課題と対応の方向性	スポーツを通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、生きがいや健康づくり・社会参加を促し、多くの市民が様々な分野のスポーツ活動ができるよう機会の提供に努める必要があります。

### 3 親しみを感じる芸術・文化の推進

項目	1 芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにします。
目標・取組概要	① 芸術・文化活動の発表の場の提供 ② アークスプロジェクトの推進 ③ 市の芸術・文化のPRと振興
自己評価	① 公民館を中心として、公民館祭りや芸術祭などを開催し、芸術・文化活動の発表の場を提供しています。市民の自主的な企画による展覧会や音楽会など、日頃の活動の成果を発表できる機会や場を増やし市民の芸術・文化に対する意欲を高めました。 ② 茨城県との共催により、もりや学びの里に海外アーティスト（3名）を招いて創作活動を行っています。アーティストの創作活動に触れることで、市民、特に子どもたちに芸術に興味をもっていただきました。 ③ 「広報もりや」の生涯学習コーナーや市ホームページで、芸術・文化のイベントや公民館講座、スポーツ教室・大会等、生涯学習関係事業の開催案内を行います。また、活動意欲向上と新たに活動を始めるきっかけづくりのため、シティプロモーションと連携して、特徴あるスポーツ・文化活動を中心に、SNSを活用した情報発信に努めました。
今後の課題と対応の方向性	「広報もりや」の生涯学習コーナーや市ホームページで、芸術・文化のイベントや公民館講座、スポーツ教室・大会等、生涯学習関係事業の開催案内を行います。また、活動意欲向上と新たに活動を始めるきっかけづくりのため、シティプロモーションと連携して、特徴あるスポーツ・文化活動を中心に、SNSを活用した情報発信に努めます。

〈外部の方々から頂いた意見〉

\* 地元出身の選手達の活躍をもっと広報してほしい。(市民)

### 4 文化財を愛する心の育成

項目	1 地域の貴重な文化財を後世に継承し、活用します。
目標・取組概要	① 文化財の保護とPRの推進
自己評価	① 市民に郷土の歴史や先人の残した文化遺産を理解してもらい、保護と周知を図ります。 郷土資料の周知と保存について理解してもらうため、市内遺跡、遺構の想像復元模型のPRと貸出しをするなど、郷土資料展示コーナーの活用を図りました。 もりや学びの里内に古文書等の保管室を設置しました。
今後の課題と対応の方向性	① 市民が所有する古文書などの調査研究も行い、貴重な資料を後世に伝えるよう努める必要があります。

## 5 安心して遊べる場の提供

項 目	1 子どもが安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供します。																																																																																									
目標・取組概要	放課後子ども総合プラン事業を推進します。 「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の運営を一体的に民間委託し、放課後子ども総合プランを展開します。																																																																																									
自己評価	<p>① 放課後児童クラブ 保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に、適切な遊び及び生活の場を提供します。月曜日から金曜日の放課後と土曜日、長期休業期間や学校休業日は早朝から1年生から6年生を対象に実施しました。</p> <p>② 放課後子ども教室 地域の方々の参画を得て、様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供します。月曜日から金曜日の放課後に、1年生から6年生を対象に実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 校</th> <th colspan="3">放課後児童クラブ</th> <th colspan="3">放課後子ども教室</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>定員</th> <th>支援員</th> <th>児童数</th> <th>支援員</th> <th>ボランティア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大井沢</td> <td>164</td> <td>120</td> <td>17</td> <td>58(32)</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>大 野</td> <td>64</td> <td>40</td> <td>8</td> <td>55(30)</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>高 野</td> <td>110</td> <td>75</td> <td>9</td> <td>47(12)</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>守 谷</td> <td>255</td> <td>160</td> <td>22</td> <td>99(53)</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>黒 内</td> <td>185</td> <td>160</td> <td>21</td> <td>71(29)</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>御所ヶ丘</td> <td>95</td> <td>75</td> <td>9</td> <td>40(21)</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>郷 州</td> <td>112</td> <td>80</td> <td>9</td> <td>50(18)</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>松前台</td> <td>124</td> <td>80</td> <td>10</td> <td>36(16)</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>松ヶ丘</td> <td>132</td> <td>80</td> <td>12</td> <td>70(34)</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,241</td> <td>870</td> <td>117</td> <td>514(242)</td> <td>37</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内は有料で参加している児童数</p>							学 校	放課後児童クラブ			放課後子ども教室			児童数	定員	支援員	児童数	支援員	ボランティア	大井沢	164	120	17	58(32)	5	5	大 野	64	40	8	55(30)	4	5	高 野	110	75	9	47(12)	4	6	守 谷	255	160	22	99(53)	5	5	黒 内	185	160	21	71(29)	4	7	御所ヶ丘	95	75	9	40(21)	3	5	郷 州	112	80	9	50(18)	3	9	松前台	124	80	10	36(16)	4	8	松ヶ丘	132	80	12	70(34)	5	5	計	1,241	870	117	514(242)	37	55
学 校	放課後児童クラブ			放課後子ども教室																																																																																						
	児童数	定員	支援員	児童数	支援員	ボランティア																																																																																				
大井沢	164	120	17	58(32)	5	5																																																																																				
大 野	64	40	8	55(30)	4	5																																																																																				
高 野	110	75	9	47(12)	4	6																																																																																				
守 谷	255	160	22	99(53)	5	5																																																																																				
黒 内	185	160	21	71(29)	4	7																																																																																				
御所ヶ丘	95	75	9	40(21)	3	5																																																																																				
郷 州	112	80	9	50(18)	3	9																																																																																				
松前台	124	80	10	36(16)	4	8																																																																																				
松ヶ丘	132	80	12	70(34)	5	5																																																																																				
計	1,241	870	117	514(242)	37	55																																																																																				
今後の課題と対応の方向性	<p>児童クラブは、平成27年度から、対象が小学校6年生まで拡大されました。児童数増加の推移と併せて、最近の傾向として共働きの家庭が増え、全体の児童数は増えていなくても、児童クラブの利用者が増える状況があります。</p> <p>今後、学校内の特別教室の活用なども視野に入れ、学校と十分に協議しながら対応する必要があります。</p>																																																																																									

### 〈外部の方々から頂いた意見〉

- \* 児童クラブの教室を増やしてほしい。(保護者)
- \* 児童クラブの指導員を適切に指導してほしい。(保護者)